

# 学童保育6年生までの受け入れを!

## 一般質問



松尾 幸宏 議員

(自民の風・誠真会)

**問** 現在進行中のアベノミクスの3本目の矢、成長戦略の個別政策として「女性が輝く日本」とある。これは女性の社会進出を示しているものと理解でき、高齢化社会、少子高齢化による将来の労働力の不足を補うため、女性、そして主婦の活躍は不可欠であり、現在子育てが理由で働けない女性に、働く機会を持っていただくことは重要課題であり、その意味では学童保育の充実はまさに救世主だと考えます。

法改正により現在3年生までの保育学年を6年生まで拡大したが、すでに6年生まで受け入れている

自治体もある。

西村市長のマニフェストにも学童保育の充実とあるが、現状と今後の保育学年引き上げの予定についてお聞きしたい。

**答** 現在、9小学校校区で学童保育園を開設しているが、現在対象は3年生までで、授業が終わってから6時まで預かっている。北条、北条東、九会の各園は定員に近い児童が在籍し、他の園においては多少の余裕がある。また、宇仁校区と賀茂校区では放課後子ども教室を実施しており対象は6年生までだが、不定期の開催となっており、今後地域のニーズがあれば、学童保育という対応も検討していきたい。

また、受け入れを6年生まで拡大することにより、成長の違う全学年が同じ教室で生活すると、高学年の学習スペースの確保等の問

題点や、指導員においては高学年の発達や特性などを学ぶ機会を設けて、スキルアップを図っていく必要がある。また、受け入れ人数が2～3割増加すると想定しているため、北条東、九会学童保育園では大幅な定員超過が予想される。2園については施設整備による定員の確保が必要であり、今年度中に整備計画を立てて来年度予算で対応していく予定である。その他の学童保育園については、できるところから平成27年4月より、6年生までの受け入れの拡大を実施する。

### その他の質問項目

- ・北条鉄道活性化について
- ・ふるさと創造会議について

# 市民の健康づくりについて

## 一般質問



中右 憲利 議員

(21政会)

**問** 高齢化による市の医療費負担増が問題となっているが、一つの原因として30代から50代の働き盛りの期間、多忙による運動不足で成人病になり、やがて年齢とともに悪化するケースが多いと思うがいかがか。

**答** 働き盛りの40歳代50歳代の方は、健診の結果からも異常率が高くなる年代です。生活習慣病の主な検査項目の異常率は、40歳代から少し高くなり、50歳代になると急激に高くなっています。

**問** そこで、働き盛りの市民の健康維持のために、会社帰り等に気軽に軽く運動ができる環境を整えることが大切であると思う。

例えば、①玉丘史跡公園に安全なウォーキングコースを設定し、夜間照明をもう少し明るくし、大勢の人が楽しめるようにする。②アクアスへの進入路、駐車場、看板を整備し、使い勝手をよくする。③将来的に、健康福祉会館横の池の周りにウォーキングコースをつくり、会社帰りや買い物のついでに運動ができるよう整備すること等、検討してほしい。

**答** 玉丘史跡公園では、ウォーキング教室を開催しています。また、6年前から間引いていた夜間照明を、6月から全て再開しています。アクアスについては、わかりやすい進入路の表示を検討します。また、西上野側からの進入路については、

車両のすれ違いが困難であると認識しており、関係機関と整備等について協議します。駐車場についても適切な場所を検討し整備に努めます。

健康福祉会館横の池の周囲のウォーキングコースの設置については、立地がよい反面課題も多く、将来的な検討事項とさせていただきます。

**要望** 運動、食に関することや健診の受診等、健康維持に関する習慣付けを市民に推奨し、行政にも運動しやすい環境整備、健診や食習慣等の啓発等を義務付ける包括的な市民健康条例的なものの制定を検討してはどうか。

### その他の質問項目

- ・市道西谷坂元線について
- ・観光政策について
- ・アステアかさいについて